

第3回 静岡地場産品のグローバル市場開拓の可能性を探る/ ハラール対応の事例

2014年 1月22日(水) 14:40~16:10 (開場14:10)

静岡県立大学 一般教育棟2階 2215講義室

講師 濱下武志 (グローバル地域センター副センター長、特任教授)
中村克海 (中央精工株式会社 取締役社長)
<敬称略>

司会 富沢壽勇 (グローバル地域センター副センター長、国際関係学部教授)

グローバル市場開拓をめざす企業にとって、より普遍性の高い商品、あるいは、市場のニーズに即応できる商品をいかに開発できるかは重要な着眼点になります。第3回セミナーでは県の地場産品の代表格である茶をとりあげ、まず濱下武志氏が東アジアを中心とした茶の消費慣行を比較考察したうえで、最近中国や欧米などの企業によって茶の新たな消費開拓がどのように進捗しつつあるかを中心に講演します。つづいて、緑茶のハラール認証を県内企業として先駆的に取得した中央精工の中村克海氏に、イスラーム市場に注目した戦略、経緯と展望などを具体的にお話しいただく予定です。

第4回 日本ハラール協会のハラール認証の現状と課題

2014年 2月10日(月) 14:40~16:10 (開場14:10)

静岡県立大学 一般教育棟2階 2215講義室

講師 レモン史視 (日本ハラール協会代表)
<敬称略>

司会 富沢壽勇 (グローバル地域センター副センター長、国際関係学部教授)

最近にわかに注目されているイスラーム市場を対象としたハラール産業、ハラールビジネスは、ハラール認証制度と連動しながら展開しています。日本ハラール協会は近年関西に設立され、マレーシアやシンガポールのハラール認証機関から日本のハラール認証団体として承認され、活発な活動を展開しているNPO法人です。第4回では同協会を立ち上げたレモン史視代表をお招きし、同協会の設立理念と活動内容、ハラール認証の基本方針と具体的な認証の諸例、及びその課題などについてお話しいただく予定です。

いずれのセミナーについても、ハラール対応に直接関心をお持ちの企業・行政関係者はもちろん、イスラームと経済活動の関わりに広く興味をお持ちの学生・教職員の皆様等、多数のご来場をお待ちしています。

参加無料・事前申込不要

— 会場(静岡県立大学)アクセス —

住所 : 静岡市駿河区谷田52-1

徒歩の場合 : JR「草薙駅」または静岡鉄道「草薙駅」

「県立美術館前」下車、上り坂徒歩15分

バスの場合 : JR「草薙駅」前より静鉄バス「三保草薙線」

「草薙団地行」へ乗車3分、「県立大学前」下車

— 主催・お問い合わせ —

静岡県立大学グローバル地域センター

〒420-0839 静岡市葵区鷹匠3-6-1 もくせい会館2階

Tel 054-245-5600

Fax 054-245-5603

E-mail glc@u-shizuoka-ken.ac.jp

グローバル地域センターのホームページにも、ご案内を掲載しております <http://global-center.jp>